



飯南町
総合振興
計画

第 5 章

心豊かで創造性あふれる人材を育てるまち

I I N A N T O W N M A S T E R P L A N

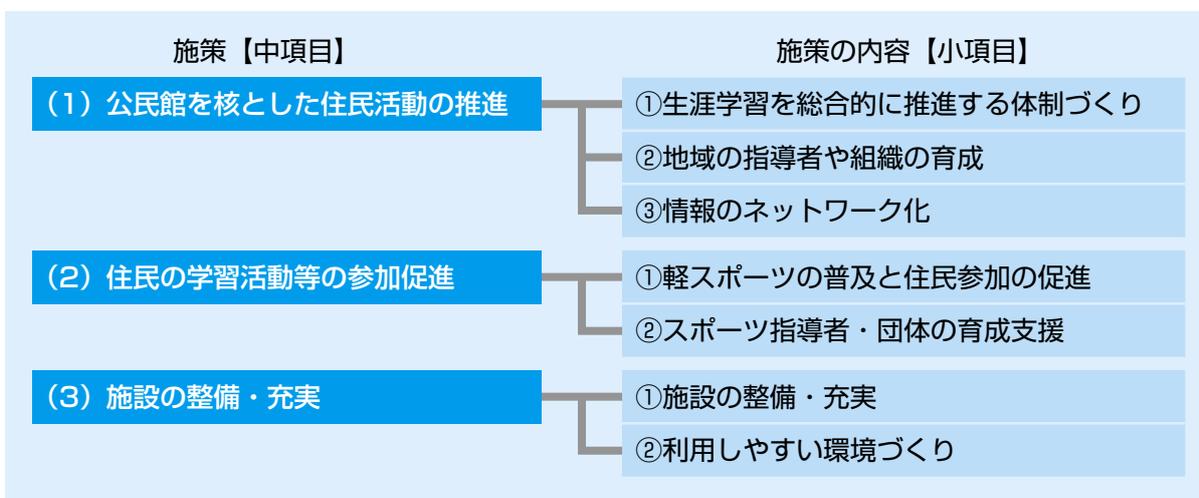
【基本施策】

5-1 地域で進める生涯学習の推進

公民館を核として、地域で生涯学習の推進を図ります。
 そのために、住民活動の活性化や学習活動への参加促進、施設の整備・充実を図ります。

施策体系

5心豊かで創造性あふれる人材を育てるまちー 1 地域で進める生涯学習の推進



(1) 公民館を核とした住民活動の推進

現状	◆町内5公民館にそれぞれ、館長と公民館主事を配置し、公民館ごとの自主的学習、講座、地域活動等を実践できる体制の整備と活動費の支援を行いました。
課題	◆図書館の、住民一人当たりの貸出数は県下でも低い状況にあり、有効活用が望まれています。 ◆地域住民が主体となった学習、講座、地域活動の推進母体として、公民館の重要性はますます高まっています。 ◆本町の規模で5公民館が並列的な組織として存続した方がよいか、中央公民館、地区公民館又は分館体制とした方がよいか検討する必要があります。
方針	◆地域に誇りと自信を持てる教育を推進します。 ◆乳幼児期から高齢者まで、あらゆる年代に対して、学習機会を提供できる体制の構築を図るために、公民館を核とした生涯学習を進め、住民活動などを推進します。 ◆生涯学習センターの整備などとあわせて公民館の体制等について検討します。

施策の内容

①生涯学習を総合的に推進する体制づくり

- 関係機関との連携により、総合的に生涯学習を推進する体制づくりを行います。
- ふるさと教育の推進など、関連機関や学校と地域・家庭の連携を深め、地域ぐるみで生涯学習に取り組むことができる体系を構築します。
- あらゆる世代の住民が、自らの主体性に基づき、学習する機会と環境を整備します。
- 各公民館の取り組みをメニュー化・テキスト化・キット化するなど、町内全域で同様の取り組みに参加できる仕組みづくりを検討します。

②地域の指導者や組織の育成

- 各種団体・組織の活動を支援しながら団体・組織の育成を図ります。
- 講習会や研修会の実施により、生涯学習や地域活動を担う人材を育成します。
- 大万木山ぶな林、赤名湿地帯の「森の案内人」を積極的に活用し、自然体験学習機会を設けます。

③情報のネットワーク化

- 住民が図書館を利用しやすい環境づくりに努め、地域住民が本に親しむ環境の整備と充実を図ります。
- CATV を活用した学習情報の提供をはじめ、利用者が便利な仕組みづくりを検討していきます。

《目標指標》

項 目	現状値 (H21)	目標値 (H27)
住民一人当たりの貸出冊数	1.0 冊/年	1.5 冊/年



(2) 住民の学習活動等の参加促進

現状	<ul style="list-style-type: none"> ◆社会体育・スポーツの推進組織とするため、総合型地域スポーツクラブを設立しました。 ◆社会体育施設の整備については、頓原野球場や町民プール等の改修整備を実施しました。 ◆小田小学校と谷小学校の廃校に伴って、それぞれの体育館については、小田体育館、谷体育館として社会体育施設として利用しています。
課題	◆広く住民がスポーツに親しむ体制の整備と指導者の養成が必要です。
方針	◆総合型地域スポーツクラブを中心とした、誰でも気軽に楽しくスポーツに親しめる体制の整備を確立します。

施策の内容

①軽スポーツの普及と住民参加の促進

- スポーツを通じて、住民の健康維持・増進と体力づくりを進めるため、各種スポーツ活動への住民参加を促します。
- 地域の自然環境を活かしながら、誰もが気軽に体を動かし、楽しみながら運動を奨励するよう、軽スポーツの普及啓発に取り組みます。
- 総合型地域スポーツクラブの組織運営体制を整備し、広く住民がスポーツに親しむ体制の確立と指導者の養成を図ります。

《目標指標》

項目	現状値 (H21)	目標値 (H27)
スポーツ活動開催数	6回/年	52回/年
スポーツ活動参加者数	382人/年	1,500人/年

②スポーツ指導者・団体の育成支援

- 計画的に研修会や指導者講習会等を企画し、体育指導委員などの資質の向上と意識高揚を図ります。
- 体育協会やスポーツ少年団など各種団体の育成と支援を行いながら、スポーツを通じた子どもの健全育成と住民の健康増進を推進します。
- 子ども、青壮年、女性、高齢者等、町民各階層に渡る健康づくり体力づくりのための指導普及体制の整備を図ります。

《目標指標》

項目	現状値 (H21)	目標値 (H27)
健康・体力づくり指導者養成講習会開催数	2回/年	6回/年

(3) 施設の整備・充実

現状	◆老朽化している山村広場、野球場をはじめとするスポーツ施設について、適宜設備修繕等を行いました。
課題	◆各施設について、地域・学校等の利用状況を勘案しながら計画的な修繕対応が今後も必要です。
方針	◆地域活動や生涯学習、各種スポーツなどに取り組みやすいよう、施設の整備や設備の充実、利用しやすい環境づくりに努めます。

施策の内容

①施設の整備・充実

- 老朽化している山村広場、野球場等のスポーツ施設の設備修繕を行い、住民のスポーツ活動、サークル活動の活発化を図ります。
- 各施設について、地域・学校等の利用状況を勘案しながら計画的な修繕対応に努めます。

②利用しやすい環境づくり

- 地域でスポーツ・レクリエーション活動が行えるように、既存施設の機能の拡充を図り、利用しやすい環境づくりを行います。



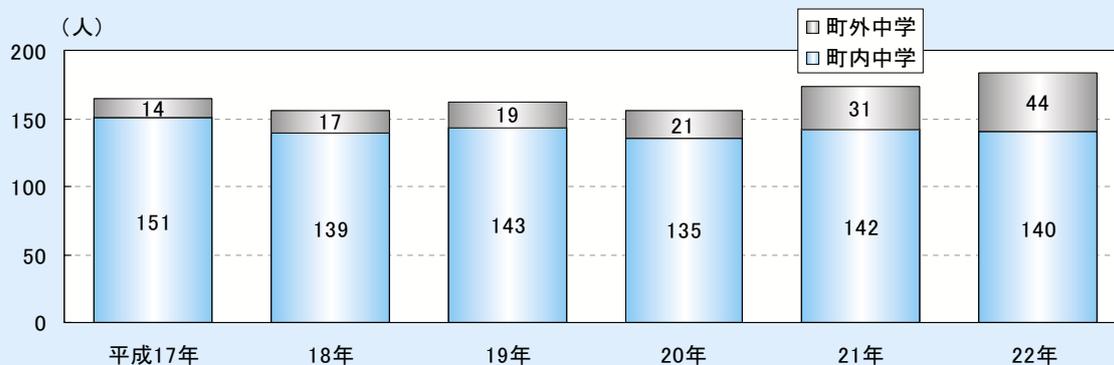
【基本施策】

5-2 地域との連携による学校教育の充実

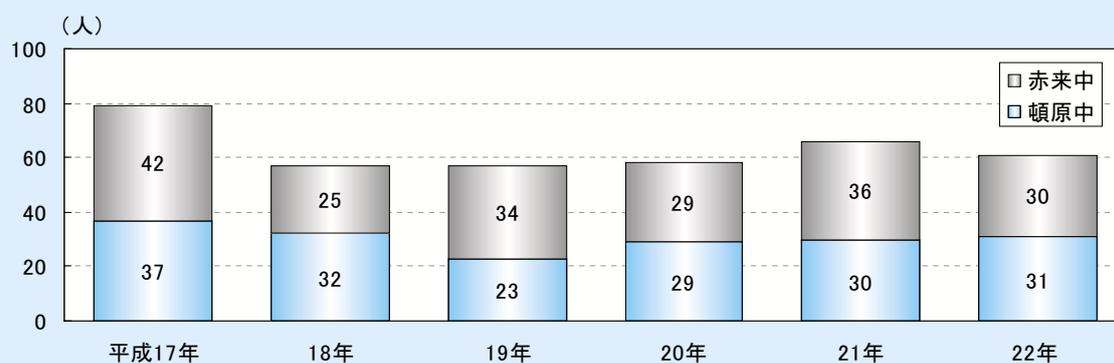
次世代を育むために、地域と学校の連携による教育の充実を図ります。

そのために、地域ぐるみの青少年健全育成の推進や、小学校、中学校における学習環境の充実などに努めるとともに、保育所から高校までが連携した教育環境の創造を図ります。

◆飯南高校生徒の推移（飯南町）

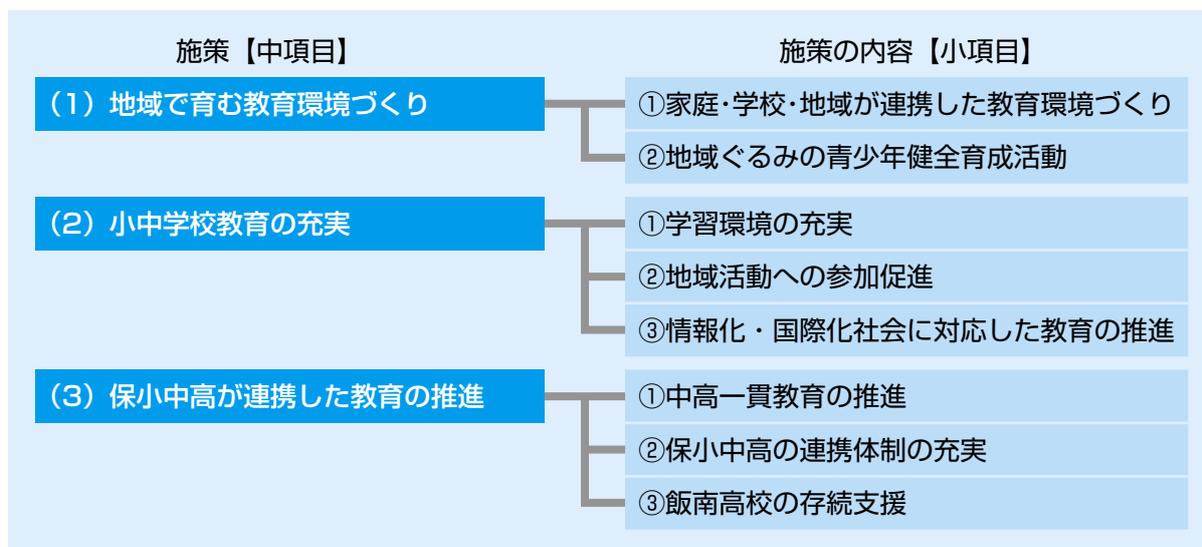


◆町内中学卒業生の推移（飯南町）



施策体系

5心豊かで創造性あふれる人材を育てるまち-2 地域との連携による学校教育の充実



(1) 地域で育む教育環境づくり

現状	◆児童生徒の登下校の安全安心のためにパトロールを実施する青パト隊を結成したことから、不審者等の報告は減少しています。 ◆地域における見守り隊によるパトロールを実施しています。
課題	◆学校教育、社会教育それぞれの分野での専門性がますます必要となり、また相互に調整を図ることが重要です。
方針	◆地域の教育力の低下が叫ばれる中、地域全体で学校を支援する体制を整備し、地域の子どもを地域全体で育てる体制づくりを進め、地域の将来を担う人材の育成を進めます。

施策の内容

①家庭・学校・地域が連携した教育環境づくり

- 学校と地域住民などが一体となって学校教育を支援する特色ある教育の仕組みづくりを行います。
- 教育関係機関や社会教育関係団体はもとより、家庭や地域、企業などとの連携を強化し、子どものための教育環境づくりを進めます。
- 学校施設の地域開放を行うなど、学校と地域のつながりを強化し、地域で育む教育環境づくりを行います。
- 中山間地域研究センターなどとの連携により、多様な教育を受けることができる仕組みづくりに取り組みます。
- 必要に応じて、社会教育主事、指導主事の派遣要請を行います。

《目標指標》

項 目	現状値 (H21)	目標値 (H27)
異世代交流会開催数	20回/年	40回/年

②地域ぐるみの青少年健全育成活動

- 青少年健全育成会議を核に、公民館を中心とした地域での子どもの健全育成活動や非行防止活動に努めます。
- 子どもの登下校時の安全の確保を第一に考え、スクールバス運行の充実や地域における見守り活動等を推進します。
- 少子高齢化の中で地域の子どもの地域全体で育てる体制づくりを進めます。

(2) 小中学校教育の充実

現 状	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 耐震補強工事、大規模改修工事等の実施により、教育環境の向上を図りました。 ◆ 特別支援学級や通級指導教室、スクールサポーター等を配置し、学習や学校生活に支援を要する児童生徒のきめ細かな対応を図りました。 ◆ 児童生徒学習用パソコンの更新、教師用のパソコンの配備、電子黒板等 ICT 機器*の整備により、メディア教育*の推進に努めました。
課 題	◆ きめ細かな教育を推進するために、環境整備、支援体制を常に検討しながら対応していくことが重要です。
方 針	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 老朽化した学校施設の改修などの検討を行うとともに、学習や学校生活等に支援を要する児童生徒へのきめ細かな教育を推進するため、環境の整備、ICT 機器*を活用したメディア教育*の充実などを図ります。 ◆ 良好な教育施設環境を維持していきます。

施 策 の 内 容

①学習環境の充実

- 誰もが公平に確かな学力、豊かな心、健康・体力の向上を図っていける学習環境づくりに取り組みます。
- 老朽化した学校施設・設備の整備や改修を計画的に進めます。
- 小中学校の学習指導要領の改訂等を踏まえ、確かな学力を身に付ける教育と地域を知り、地域に誇りを持つ教育、生きる力を養う教育を進めます。
- 支援が必要な児童生徒への通級指導教室、スクールサポーター等の配置、特別支援教育連携協議会の強化を図ります。

②地域活動への参加促進

- ボランティア活動や地域活動、地域での各種行事への自主的で積極的な参加を促進します。
- 良好な教育環境と適切な教材や教育機器等を確保し、学力や学校教育の向上を図ります。

③情報化・国際化社会に対応した教育の推進

- 情報化社会に対応した教育に取り組み、CATV 等の情報網を活用し、情報化を取り入れた学習、情報の提供を行います。
- 学校施設において、コンピュータ機器の整備・充実を図り、ICT 機器*を有効活用し、教育効果の向上を図ります。
- 外国人青年招致事業により、国際社会に対応した教育環境をつくります。
- 平成 23 年度には、頓原中学校、来島小学校を会場に、島根県メディア教育研究大会を実施します。

(3) 保小中高が連携した教育の推進

現 状	<ul style="list-style-type: none"> ◆連携型の中高一貫教育の指定を受け、教職員の中学高校での連携した学習指導や個々の生徒の情報共有等を推進しました。 ◆通学利便性の向上や寮の拡張、学力向上対策の推進等により地域外からの入学生徒が増加しました。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ◆地元中学校からの入学率が向上し、地域の高校としての認識が高まっています。 ◆赤来・頓原両中学卒業生が大幅に減少する中で1学年2学級のクラス編成の存続が求められており、地元卒業生の入学率の向上と他市町村からの入学生の確保が必要です。
方 針	<ul style="list-style-type: none"> ◆地元卒業生の入学率の向上と他市町村からの入学生の確保に努めます。 ◆中高一貫教育にとどまらず、家庭・学校・地域が連携した教育環境を構築していくために、保育所から高校までが連携した教育体制を推進します。

施策の内容

①中高一貫教育の推進

- 中高の連携を強化し、中・高等学校を一貫した「地域の学校」として、基礎学力の充実と生徒の学力の向上を目指します。
- 一貫教育の目標を実践するため、学校間の交流を積極的に行います。
- 地域との連携のもとで、里山教育など里山の資源を活用した生活文化を学ぶ機会の創出など、特徴ある教育内容への取り組みを検討します。

《目標指標》

項 目	現状値 (H22)	目標値 (H27)
飯南高校への町内中学校からの進学率	77.0 %	85.0 %

②保小中高の連携体制の充実

- 保育所から飯南高校までが密に連携した教育を推進する体制の充実を図ります。

③飯南高校の存続支援

- 高校の魅力や実績をアピールするなどの支援を行い、通学手段の確保や寮の土日開放など地域外からの生徒の受入れ体制づくりを推進します。
- 1学年2学級の存続に向け、「キラリ！ドリームアップ思援会議*」での検討結果を着実に実行していきます。

《目標指標》

項 目	現状値 (H22)	目標値 (H27)
飯南高校への町外中学校からの入学者数	17人	20人

【基本施策】

5-3 里山教育・里山文化の充実

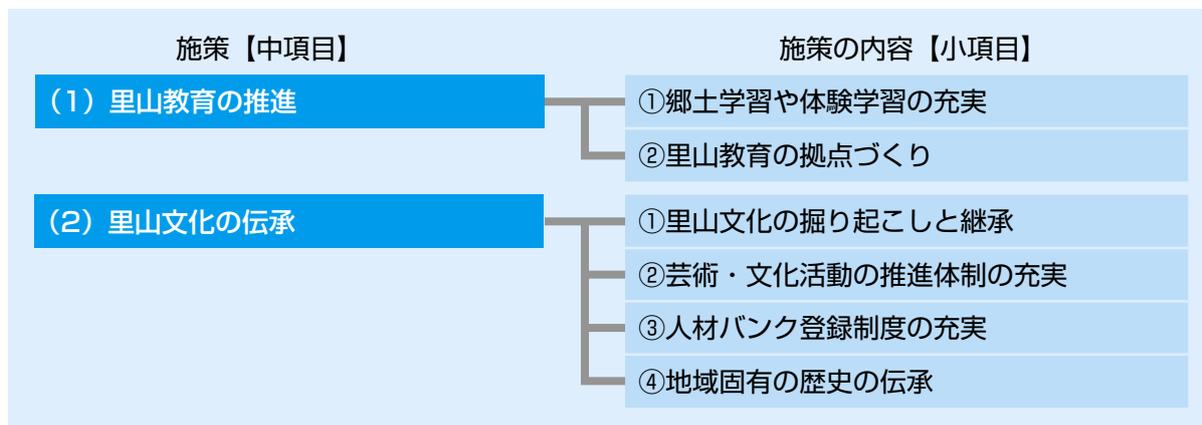
古くから里山の地域資源を活用してきた飯南町の成り立ち・生活文化、里山をどのように活用して生活してきたのかなどについて、里山文化として次世代に継承していくために、山や川を活かした里山教育の推進、里山文化の伝承に取り組みます。

また、地域にまつわる神話や歴史、伝統についても、次世代に継承していきます。

地域の伝統や歴史文化、生活の知恵など、里山文化に関する人材バンク登録制度（飯南の達人）を充実し、人材の活用を図ります。

施策体系

5心豊かで創造性あふれる人材を育てるまちー 3 里山教育・里山文化の充実



(1) 里山教育の推進

現 状	<ul style="list-style-type: none"> ◆小中学校の総合的な学習を中心に郷土学習や体験学習を実施し、ふるさとや地域を学ぶ教育を実践しました。 ◆町内にある貴重な歴史的資料の保存、活用を図るためにふるさと回想館を設置しました。 ◆神楽、囃子などの郷土芸能の継承のための拠点として谷笑楽校を設置しました。 ◆人材バンク登録制度（飯南の達人）に取り組みました。
課 題	◆行政と地域が連携し郷土に対する理解や郷土愛を醸成するため、郷土学習や体験学習の充実を図る必要があります。
方 針	◆地域の自然資源や、継承されてきた伝統・芸能だけでなく、里山とともに歩んできた飯南町の歴史、生業、里山資源を活用した生活文化、里山のおかれている現状や課題などについて、有識者や専門機関の協力を得ながら、住民の手によって、基礎的・専門的研究を行い、里山教育として、地元を学ぶ機会を創出します。

施 策 の 内 容

①郷土学習や体験学習の充実

- 調査研究の蓄積を活かし、町内の教育施設や、教育カリキュラムとの連携を図ります。
- 公民館を中心にふるさと教育を実践し、地域の伝統文化等の継承に努めます。
- 小中学校のカリキュラムで、ふるさとを学ぶ体験学習や郷土学習を実施します。
- 公民館やその他の地域団体等が中心となって、地域文化の伝承や保存を通して、地域の活性化を図ります。
- ふるさと回想館、谷笑楽校の有効活用により、町内の歴史的資料や神楽など郷土芸能の継承を進め、地域特有の歴史や伝統文化など、里山文化の掘り起こしと継承に取り組みます。

②里山教育の拠点づくり

- 中山間地域研究センターなどの専門機関と、町内の教育施設、公民館、図書館等との連携を図り、地域における里山教育の拠点づくりに取り組みます。
- 広く一般に利用される図書館としての運営、管理方法を検討します。

(2) 里山文化の伝承

現 状	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域に伝わる伝統文化や遺産の調査、保存、記録を進めました。 ◆ 石見銀山の世界遺産登録に伴って、本町を通過する銀山街道に関する資料保存、古民家修復、地元団体による活動等を支援しました。
課 題	◆ 地域文化を活用した取り組みや、町づくり活動との連携が望まれています。
方 針	◆ 伝統文化や遺産、ふるさと回想館、谷笑楽校などを活用し、地域と一体となり、地域文化の発信などを通じて、他地域との交流促進を図ります。

施 策 の 内 容

①里山文化の掘り起こしと継承

- 町内にある貴重な歴史的文化的遺産などの保存・活用を図ります。
- 神楽、囃子などの郷土芸能や、盆踊り、田植え歌、食文化等、地域特有の歴史や伝統・行事など里山文化の掘り起こしと継承に取り組みます。
- 志津見ダム周辺から出土した貴重な土器等の保存に努めます。

②芸術・文化活動の推進体制の充実

- 文化協会との連携による地域の文化活動の活性化を図り、美術展等を積極的に開催するなど、住民が芸術文化に触れる機会を増やします。
- 飯南町文化協会を中心として、様々な分野で文化活動に取り組む団体活動等の支援を行います。

《目標指標》

項 目	現状値 (H21)	目標値 (H27)
芸術・文化展開催数	13回/年	34回/年

③人材バンク登録制度の充実

- 高齢者をはじめとして、趣味や教養、伝統文化などで様々な能力をもつ住民を「飯南の達人」として登録する仕組みの充実を図ります。

④地域固有の歴史の伝承

- 地域に残る伝統文化や行事等を後世に伝承します。
- 吉岡長太郎寄贈フィルムを活用や、世界遺産登録による銀山街道の調査・保存、活用、近隣自治体との連携を促進します。
- 出雲神話や古戦場跡、野見宿禰*など、地域にまつわる歴史資料を広く後世に伝えていきます。

